

新型コロナウイルスに対する本学の方針について（第8版）

※第7版（令和2年3月30日）からの主な変更点

- ・「5. 授業、期末試験等への対応について」を更新しました。
- ・「6. 教職員の国内出張の取扱いについて」を追加しました。
- ・「9. 大学主催のイベント等について」を更新しました。
- ・「10. 教職員への感染拡大防止策について」を更新しました。

新型コロナウイルス感染症については、世界 150 を超える国と地域で感染が拡大し、とりわけ欧州での感染者が急増しています。国内においては、継続的に患者が増加し、最近では、海外からの移入との関連が疑われる事例が急増しており、国内陽性例の約 1 割を占める状況となっています。

一方、感染源がわからない感染者も徐々に増えてきており、感染の拡大が懸念される状況にあります。国の専門家から、大阪府、兵庫県の全域において、感染源が不明の症例が増加していることから、見えないクラスター連鎖が増加しつつあり、感染の急激な増加が既に始まっていると考えられ、4月3日までに患者が 3,000 人以上となる試算が、大阪府に対して示されたところです。また、3月19日には、国の専門家会議の状況分析として「一部の地域では感染拡大が見られ、今後地域において、感染源が分からない患者数が継続的に増加し、こうした地域が全国に拡大すれば、どこかの地域を発端として、爆発的な感染拡大（オーバーシュート）を伴う大規模流行につながりかねない」「その可能性は、人が密集し、都市としての人の出入りが多い大都市圏の方がより高い」との公表がなされました。

誰もがいつどこで感染してもおかしくない状況となっていますので、学生・教職員の皆さまには、集団感染の起こりやすい「換気の悪い密閉空間」「人が密集」「近距離での会話や発声が行われる」という3つの条件が同時に重なる場を避けていただくとともに、不要不急の外出を控え、こまめな手洗いや咳エチケットなど感染拡大防止にご協力いただきますようお願いいたします。

これらのことを踏まえ、本日現在の新型コロナウイルスに対する本学の方針を以下のとおり定めます。

なお、感染症情報は刻々と変化しますので、最新情報を得るように努めてください。

1. 学生の海外渡航について

3月25日付で全世界に対し、感染症危険レベル2が発出されました。また、海外帰国者の陽性が急増していますので、学生の海外渡航については、今後当面の期間、渡航不可とします。また、海外から帰国・入国した場合は、2週間自宅待機してください。

2. 教職員の海外渡航について

3月25日付で全世界に対し、感染症危険レベル2が発出されましたので、職員の海外渡航については以下の取り扱いとします。現在、外務省が感染症危険レベルを発出している国や地域は、

別表のとおりです。最新情報は外務省ホームページで確認してください。(外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

- (1) 感染症危険レベル3の国・地域へは「渡航不可」とします。
- (2) 感染症危険レベル2の国・地域へは「原則として渡航不可」とします。やむを得ない事情がある場合は、必ず渡航前に下記3の対応を行う旨の誓約書を各部局まで提出してください。

3. 教職員の今後の海外からの帰国・入国について

- ・感染症危険レベル3及びレベル2の国・地域から帰国・入国される場合は、以下の対応をお願いします。
 - (1) 帰国・入国後、2週間は、発熱や咳等の症状がないか必ず経過観察（体調と体温の記録）をしてください。
 - (2) 2週間は入念に体調の観察を行うとともに、不要不急の外出は控え、自宅に滞在してください。
 - (3) 発熱・咳等の症状が出た場合には、医療機関には直接行かず、大阪府相談窓口又は管轄の保健所に相談のうえその指示に従い、あわせて本学の保健管理センターに電話連絡してください。
- ・上記以外の地域から帰国・入国された場合も、(1)及び(3)を実施していただきますようお願いいたします。

4. 海外からの研究者受入れ・招へい等について

感染症危険レベル3及びレベル2の国・地域からの研究者の受入れ・招へい等については、事態が終息するまでは中止又は延期を要請します。その他の国・地域から研究者の受入れ・招へい等をされる場合も、入国後2週間は、発熱や咳等の症状がないか入念な体調観察をお願いします。

5. 授業、期末試験等への対応について

令和2年度前期授業期間を5月14日から8月24日までに変更し（医学部医学科、法学研究科法曹養成専攻、都市経営研究科・創造都市研究科は別途定めます。）、原則として、すべての授業（実験・実習のうち一部を除く）を遠隔で実施します。

また、学生の大学構内への立ち入りについては、5月31日まで原則禁止とします。なお、卒論・修論・博論のため構内での実験が必要等、特に登校を必要とする学部生・院生については、特別に立ち入りを許可することもあるので、各学部・研究科に問い合わせてください。

6. 教職員の国内出張の取扱いについて

国内各所で感染が急増しており、誰もが誰からでもどこからでも感染する可能性があります。また、感染しても症状が出ない場合もあり、気付かないうちに感染を広げてしまう可能性もあります。感染拡大防止のため、教職員の国内出張についても5月31日まで原則禁止とします。また、キャンパス間移動などの近距離出張についても、人と人との接触の機会が増えること、公共交通機関の利用は感染拡大リスクが高まることから、同様に原則禁止とします。やむを得ず出張する場合は、出張後2週間は発熱や咳等の症状がないか入念な体調観察を必ず実施してください。

7. 感染の可能性がある場合の対応について

次の症状がある方は、すみやかに新型コロナ受診相談センター(大阪府の場合は管轄の保健所)に相談のうえその指示に従い、あわせて本学の保健管理センターに電話連絡してください。

A 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

B 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

※センターで相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」が紹介されます。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

連絡先：新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）

（大阪市保健所）TEL：06-6647-0641 FAX：06-6647-1029

（その他府内の保健所）以下ページの「保健所一覧」をご覧ください

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/corona-denwa.html>

保健管理センター TEL：06-6605-2108

8. 感染症患者と接触した可能性がある場合の対応について

現在、各自治体より感染症患者の濃厚接触者の状況等が公表されておりますが、大阪府下においても感染症患者や濃厚接触者の情報や集団感染が起こった場所が特定され、本学関係者がいつ感染してもおかしくない状況となっております。自身や家族等が感染症患者と接触した場合や集団感染が発生した場所へ当該日時に滞在していたなど、少しでも感染症患者等と接触した不安がある場合は所属する学部・研究科へ連絡してください。

大阪府公表情報：<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/corona.html>

9. 大学主催のイベント等について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発話）が重なることを回避する必要があることから、5月31日まで、学内外を含め大学運営に著しい支障を与える場合を除いてイベント等の開催を中止します。また、参加についても自粛を求めます。

10. 教職員への感染拡大防止策について

国内各所で感染が急増しており、誰もが誰からでもどこからでも感染し得る状況となっており、感染者の40%が無症状で、気付かないうちに感染を広げてしまう可能性があります。教職員一人一人が危機意識を持ち、自身がウイルスを持っていると想定し、5月31日まで次の対策を行うことを求めます。

(1) 人との距離を2メートル以上とり、マスクを着用し、手洗い・アルコール消毒を励行する。

(2) 不要不急の外出を自粛する

①室内で人が集まる場所に行かない（イベント、カラオケなど）

②人と密着した外食・会話などを避ける（飲み会、会食など）

- ③密閉された空間に行かない（映画館など）
- (3) 公共交通機関を原則使用しない。やむを得ない場合は、手で顔を触らないようにし、降りたら手洗いまたはアルコール消毒を徹底する。
- (4) 自宅勤務を推奨する。
- (5) 各種会議の開催については、必要性や出席者の見直しを行い、不要不急であるものについては中止するとともに、可能な範囲でメールや電話、TV 会議などを活用する。

11. その他

- ・風邪やインフルエンザが多い時期でもあることから、咳エチケットや手洗い等、通常の感染症対策を行うようこころがけてください。
- ・中国の方などに対する誹謗中傷や根拠のないデマが SNS 等で広がっていると報道されています。本学には中国や韓国からの留学生も多く、学生・教職員の皆さまには、感染者や外国人、医療関係者等への人権侵害につながるものがないよう、正しい情報に基づいた冷静な対応をお願いいたします。また、学内で仮にそのような事象等が見受けられた場合には、所属する学部・研究科にご連絡いただきますようお願いいたします。

●問い合わせ先

- ・学生の方… 所属する学部・研究科 <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/contact>
(留学生の方) 国際センター TEL : 06-6605-3454
- ・教職員の方 … 所属する学部・研究科・課等
- ・新型コロナウイルス感染症についての健康相談窓口
… 大阪府相談窓口 TEL : 06-6944-8197 【専用回線】
FAX : 06-6944-7579

●参考情報

- ・外務省海外安全ホームページ
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ・首相官邸ホームページ
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>
- ・厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ・文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html
- ・在中国日本大使館ホームページ
https://www.cn.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ・国立感染症研究所ホームページ
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>
- ・大阪府庁ホームページ
<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryos/osakakansensho/corona.html>

外務省が感染症危険レベルを発出した国・地域について

(別表)

2020.4.1 PM16:30

感染症危険レベルの最新情報は外務省海外安全ホームページ(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)で確認してください。

地域	国名	感染症危険レベル3	感染症危険レベル2	感染症危険レベル1
アジア	インドネシア	全土	-	-
	韓国	全土	-	-
	シンガポール	全土	-	-
	タイ	全土	-	-
	台湾	全土	-	-
	中国	全土	-	-
	フィリピン	全土	-	-
	ブルネイ	全土	-	-
	ベトナム	全土	-	-
	マレーシア	全土	-	-
大洋州	オーストラリア	全土	-	-
	ニュージーランド	全土	-	-
北米	カナダ	全土	-	-
	アメリカ	全土	-	-
中南米	エクアドル	全土	-	-
	ドミニカ国	全土	-	-
	チリ	全土	-	-
	パナマ	全土	-	-
	ブラジル	全土	-	-
	ボリビア	全土	-	-
欧州	アイスランド	全土	-	-
	アイルランド	全土	-	-
	アルバニア	全土	-	-
	アルメニア	全土	-	-
	アンドラ	全土	-	-
	イギリス	全土	-	-
	イタリア	全土	-	-
	エストニア	全土	-	-
	オーストリア	全土	-	-
	オランダ	全土	-	-
	北マケドニア	全土	-	-
	キプロス	全土	-	-
	ギリシャ	全土	-	-
	クロアチア	全土	-	-
	コソボ	全土	-	-
	サンマリノ	全土	-	-
	スイス	全土	-	-
	スウェーデン	全土	-	-
	スペイン	全土	-	-
	スロバキア	全土	-	-
	スロベニア	全土	-	-
	セルビア	全土	-	-
	チェコ	全土	-	-
	デンマーク	全土	-	-
	ドイツ	全土	-	-
	ノルウェー	全土	-	-
	バチカン	全土	-	-
ハンガリー	全土	-	-	

地域	国名	感染症危険レベル3	感染症危険レベル2	感染症危険レベル1
	フィンランド	全土	-	-
	ブルガリア	全土	-	-
	フランス	全土	-	-
	ベルギー	全土	-	-
	ポーランド	全土	-	-
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	全土	-	-
	ポルトガル	全土	-	-
	マルタ	全土	-	-
	モナコ	全土	-	-
	モルドバ	全土	-	-
	モンテネグロ	全土	-	-
	ラトビア	全土	-	-
	リトアニア	全土	-	-
	リヒテンシュタイン	全土	-	-
	ルクセンブルク	全土	-	-
	ルーマニア	全土	-	-
中東	イラン	全土	-	-
	イスラエル	全土	-	-
	エジプト	全土	-	-
	カタール	-	全土	-
	トルコ	全土	-	-
	バーレーン	全土	-	-
アフリカ	コートジボワール	全土	-	-
	コンゴ民主共和国	全土	-	-
	モーリシャス	全土	-	-
	モロッコ	全土	-	-
その他上記以外の国及び地域	-	個別で感染症危険情報が発出されている国・地域を除く全世界	-	